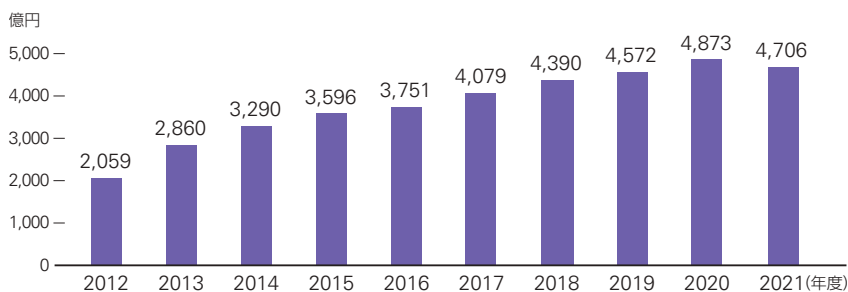


2021年度の業績概要

- 連結営業収益は、グループ共通ポイントを活用したイオン生活圏の構築、国内でのコード決済や生命保険元受事業の開始など、中長期的な成長に向けた取り組みを進めるとともに、各種取扱高の拡大を図ったものの、国内におけるカードキャッシングや個品割賦を中心とする営業債権残高の回復が鈍かったことを主因とし、4,706億57百万円(前期比3.4%減)となりました。
- 連結営業利益は、前年度から継続して審査の精緻化や債権回収体制の強化に努め、貸倒関連費用が大幅に改善したことや、デジタル化を通じて販管費の抑制に努めたことで、588億52百万円(前期比44.8%増)となりました。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は302億12百万円(前期比70.8%増)と大きく改善しました。

連結営業収益



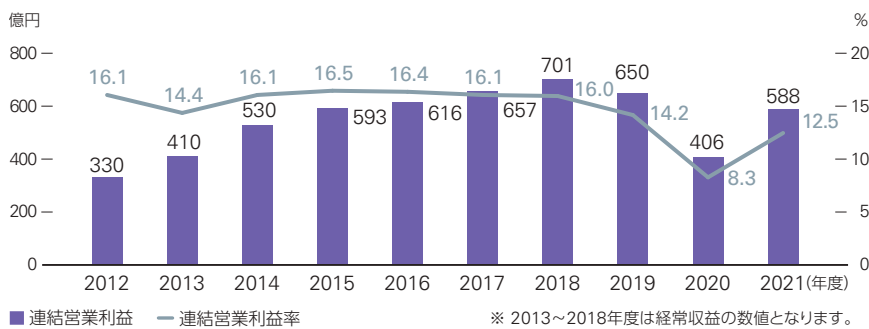
※ 2013~2018年度は経常収益の数値となります。

連結営業収益

2021年度 **4,706** 億円

前期比 **△3.4%** ↓

連結営業利益 / 連結営業利益率



※ 2013~2018年度は経常収益の数値となります。

連結営業利益

2021年度 **588** 億円

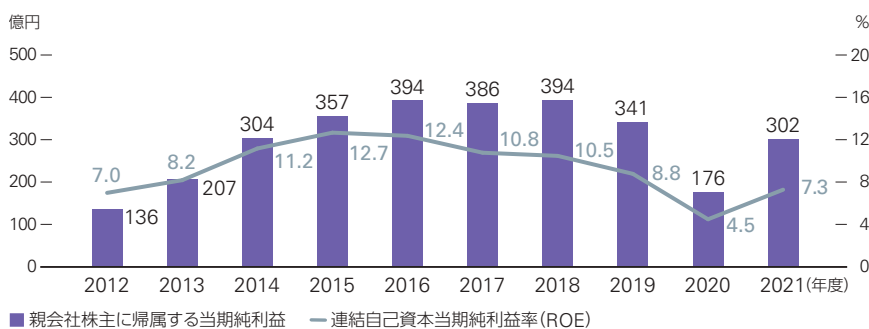
前期比 **+44.8%** ↑

連結営業利益率

2021年度 **12.5%**

前期比 **+4.2pt** ↑

親会社株主に帰属する当期純利益 / 連結自己資本当期純利益率(ROE)



親会社株主に帰属する当期純利益

2021年度 **302** 億円

前期比 **+70.8%** ↑

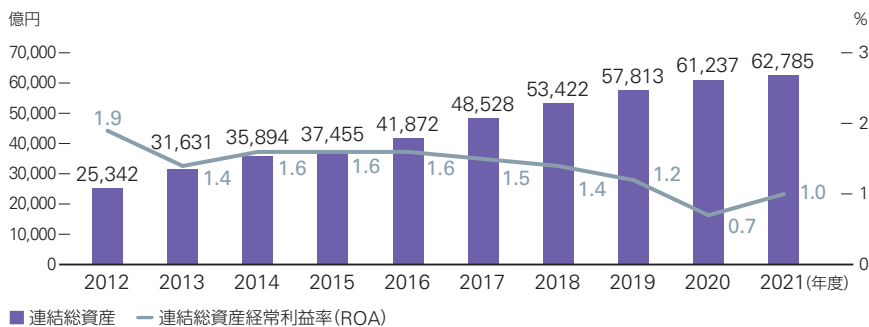
連結自己資本当期純利益率(ROE)

2021年度 **7.3%**

前期比 **+2.8pt** ↑

(注1) 2013年1月1日付で(株)イオン銀行を株式交換により完全子会社化したことに伴い、2013年度以降の連結業績には、同行および同行の子会社1社の業績が含まれています。
 (注2) 2012年度の数値は決算期変更により、2012年2月21日から2013年3月31日までの13ヵ月と11日間となっています。
 (注3) 2019年度の数値は決算期変更により、2019年4月1日から2020年2月29日までの11ヵ月間となっており、前期比は2018年度の12ヵ月間との比較になります。

連結総資産／連結総資産経常利益率(ROA)



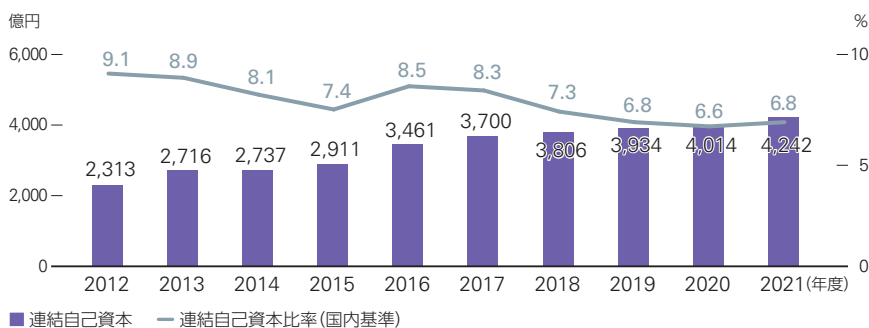
連結総資産

2021年度 **62,785** 億円
 期首比 **+1,548** 億円 ↑

連結総資産経常利益率(ROA)

2021年度 **1.0**%
 前期比 **+0.3pt** ↑

連結自己資本／連結自己資本比率(国内基準)



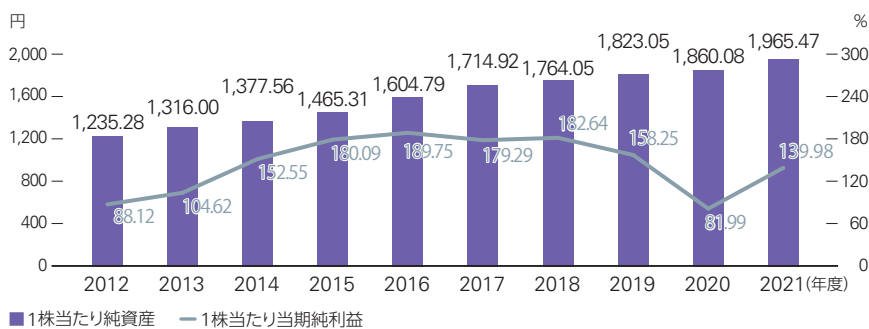
連結自己資本

2021年度 **4,242** 億円
 期首比 **+227** 億円 ↑

連結自己資本比率(国内基準)

2021年度 **6.8**%
 前期比 **+0.2pt** ↑

1株当たり純資産／1株当たり当期純利益



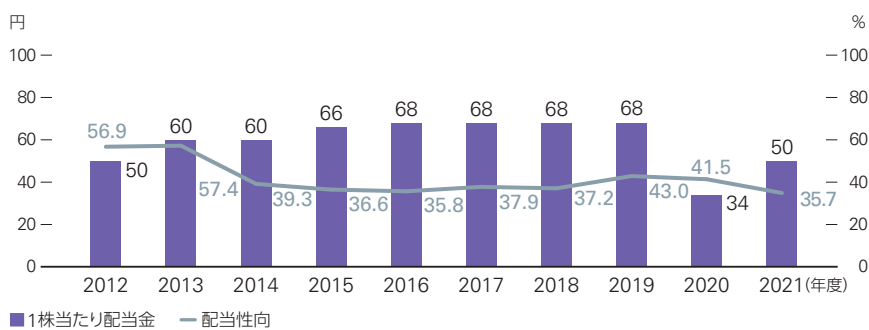
1株当たり純資産

2021年度 **1,965.47** 円
 期首比 **+105.39** 円 ↑

1株当たり当期純利益

2021年度 **139.98** 円
 前期比 **+57.99** 円 ↑

1株当たり配当金／配当性向



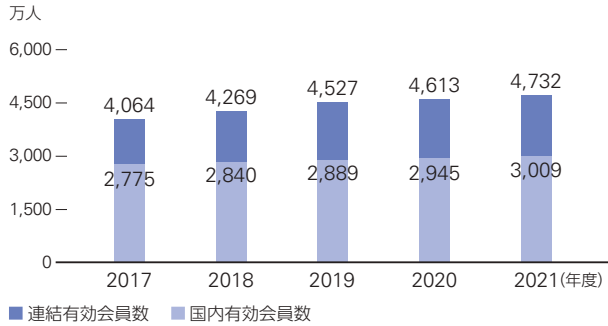
1株当たり配当金

2021年度 **50** 円
 配当性向 **35.7**%

※2016年度の1株当たり配当金は上場20周年記念配当2円を含んでいます。
 ※2021年度の1株当たり配当金は設立40周年記念配当4円を含んでいます。

非財務ハイライト

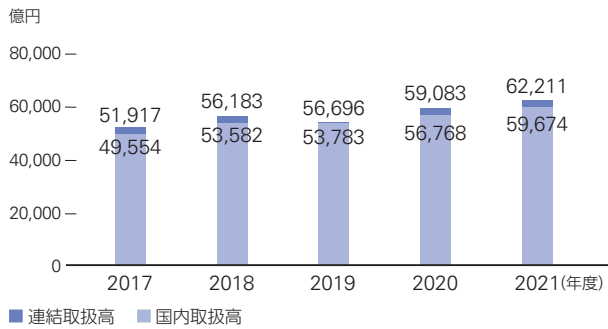
連結有効会員数



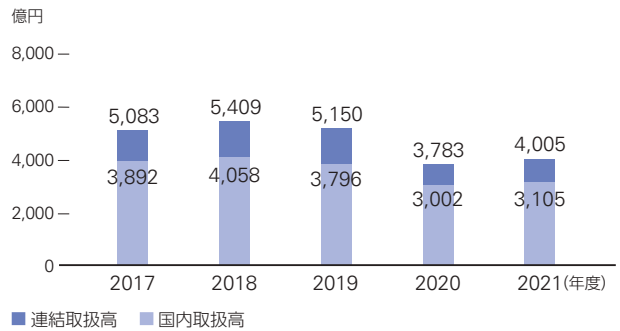
イオン銀行預金残高／銀行口座数



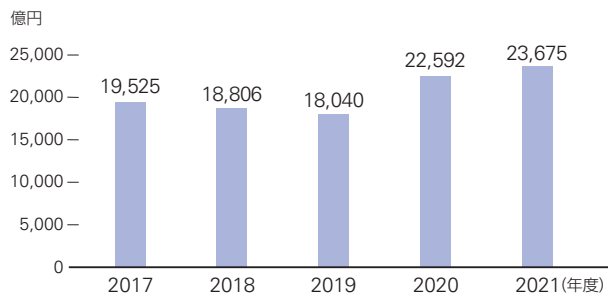
カードショッピング取扱高



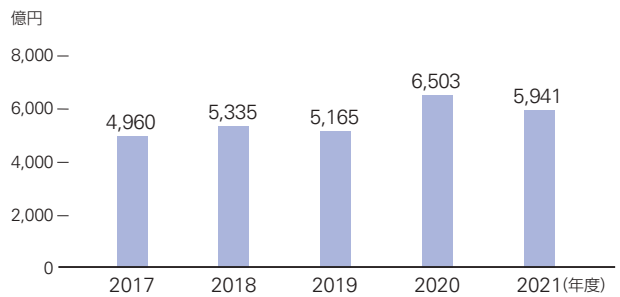
カードキャッシング取扱高



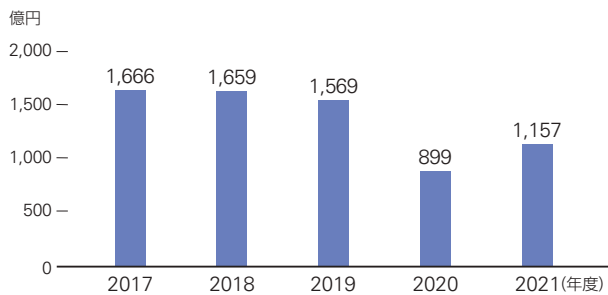
電子マネー取扱高(国内)



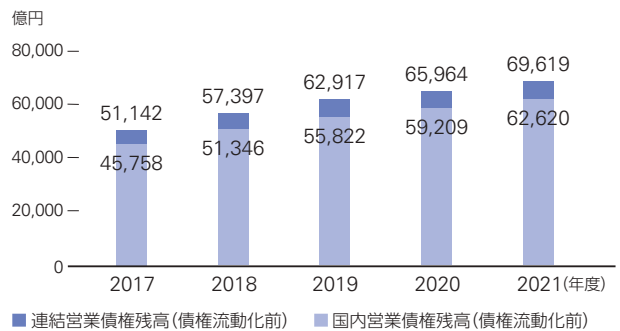
住宅ローン取扱高(国内)



無担保ローン取扱高(海外)



連結営業債権残高(債権流動化前)



(注1) 2019年度の数値は決算期変更により、2019年4月1日から2020年2月29日までの11ヵ月間となっています。

ステークホルダーとの対話

当社は経営陣やIR部門が中心となり、株主・投資家との責任ある対話を行っています。今後も責任ある対話を通じて、企業価値の向上につなげていきます。

IRに関する活動状況




IR活動	補足説明	代表者自身による説明の有無	活動(2021年度実績)
ディスクロージャーポリシーの作成・公表	ディスクロージャーポリシーを作成し、基本方針、情報開示の基準、情報開示の方法、IR自粛期間について公表しています。	—	—
個人投資家向け会社説明会の実施	個人投資家さま向けの会社説明会を開催し、当社の紹介・業績状況について説明しています。	—	WEB形式2回
アナリスト・機関投資家向け説明会の定期開催	代表者または経営管理担当取締役、経営企画担当取締役による説明会を定期的に実施しています。	あり	対話述べ数:348名
社外取締役スモールミーティングの開催	社外取締役が機関投資家の皆さまと対話するスモールミーティングを初めて開催しました。	あり	WEB形式1回
IR資料のコーポレートサイト掲載	各種資料の掲載に加え、決算説明会を音声配信しています。また、月次情報を公表しています。	—	決算公表資料: 四半期ごと その他IR関連資料: 随時
IRに関する部署(担当者)の設置	ディスクロージャー所管部門である「グループ経営企画部」にIR担当者を配置しています。	—	—
その他	国内外の投資家さまや証券アナリストさまを対象とした、代表取締役社長、経営管理担当取締役およびIR担当者による個別ミーティングを実施しています。	あり	開催数:158回

当社に対する外部評価(2022年9月30日現在)

IR活動	評価内容
日興アイ・アール(株)	 「2021年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」 総合ランキング:最優秀サイト
モーニングスター(株) ゴメズ・コンサルティング 事業部	 「Gomez IRサイトランキング2021」 優秀企業:銅賞

IR関連情報の開示状況

資料	日本語	英語
決算公表資料	●	●
適時開示資料	●	●
個人投資家の皆さまへ	●	—
株主・株式関連情報	●	●
業績・財務関連	●	●

株価指数	評価内容
FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	 構成銘柄に初選定
SOMPO サステナビリティ・インデックス	 構成銘柄に11年連続選定
JPX日経400	 構成銘柄に9年連続選定

格付情報(2022年9月30日現在)

格付機関	長期	短期
日本格付研究所(JCR)	A (安定的)	J-1
格付投資情報センターR&I	A- (安定的)	a-1